

第8回 新田カップジュニアゴルフ選手権

開催日：平成30年8月1日(水)

開催場所：庄内ゴルフ倶楽部

競技規定

1. ゴルフ規則 日本ゴルフ協会ゴルフ規則及び本競技のローカルルールを適用する。
2. 競技委員会の裁定 競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。
3. プレーの条件 高校生・中学生・小学生（18ホール）各18ホールストロークプレー
小学生（9ホール）9ホールストロークプレー
4. タイの決定 高校、中学の部で1位にタイが生じた場合は、プレーオフを行う。
その他のタイについては、マッチングスコアカード方式により決定する。
インコースを計算対象とする。それでも決まらなかったら、18番よりのカウントバックとする。
5. 使用球の規格 『公認球リストの条件・ゴルフ規則付I(B)1b』を適用する。（ゴルフ規則177ページ参照）
6. 使用クラブの規格 『適合ドライバーヘッドリストの条件・ゴルフ規則付I(B)1a』を適用する。
（ゴルフ規則176ページ参照）
*小学生の部には適用しない。
7. 競技種目及び使用ティマーカー
 - 1) 高学生男子の部 (黒マーク)
 - 2) 高学生女子の部 (青マーク)
 - 3) 中学生男子の部 (黒マーク)
 - 4) 中学生女子の部 (青マーク)
 - 5) 小学生18ホール男子の部 (赤マーク)
 - 6) 小学生18ホール女子の部 (赤マーク)
 - 7) 小学生9ホールの部 (ピンクマーク)
8. 移動 正規のラウンド中の移動について『ゴルフ規則付I(B)8移動』を適用する。
（ゴルフ規則183ページ参照）
プレーヤーは、正規のラウンド中、手引きカートの使用は認めるが、動力付きの手引きカートを使用してはならない。
*この条件の違反の罰は、違反があった各ホールに対して2打。但し、1ラウンドにつき最高4打まで（違反のあった最初の2ホールに各2打の罰）
ホールとホールの間で違反が発見されたときは、次のホールのプレー中に違反が発見されたものとみなされ、罰はそれに応じて適用されなければならない。
*動力付きの手引きカートを使用した場合、違反を発見次第、直ぐに使用を止めなければならない。使用を直ぐに止めなかったときは、そのプレーヤーは競技失格となる。
*ホール間の移動は、別途定める。
9. キャディー
 - (a) 正規のラウンド中、プレーヤーのキャディー使用は禁止する。
 - (b) 正規のラウンド中、プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。
この条件の違反の罰は『付属規則I(B)2』を適用する。（ゴルフ規則179ページ参照）
10. 競技終了時点 本競技は、競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。
11. 参加資格 ジュニアで7歳から18歳までの男女。
（2000年4月2日より2011年4月1日の間に誕生の者）
12. 参加申込み 所定の用紙にて、直接申込のこと。 FAX 0234-56-3323
13. 参加費 5,000円（プレー代・昼食・諸税含む）
内訳 1) 競技参加費2,000円 2) プレー代3,000円
14. 賞 優勝・準優勝・3位（各クラス共）
15. 注意事項
 - (1) プレーの進行には十分注意すること。
 - (2) 参加中の不測の事故などについて、主催者は責任をおいませぬので、スポーツ傷害保険等に加入して下さい。
 - (3) 父兄に小学校選手のお手伝いをお願いすることがあります。
その際は、ご協力お願いいたします。

ローカルルール

- アウトオブバウンズ (規則 27)
アウトオブバウンズは白杭で定める(定義「アウトオブバウンズ」参照)。
No.2・9 の間、No.3・4 の間において、現にプレーするホールの白杭を結ぶ線を越えて他の区域に止まった球はアウトオブバウンズの球とする。
- ウォーターハザード (規則 26)
ウォーターハザードは黄線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
- 異常なグラウンド状態 (規則 25)
 - 修理地は白線と青杭で標示する(定義「修理地」)。
 - スルーザグリーンの張芝の継ぎ目については付属規則 I (A)3e を適用する。
 - パッティンググリーンの前後のペイントマークと、スルーザグリーンの芝草を短く刈ってある区域にあるヤーデージマーキングペイントが球のライ、意図するスイング区域の障害となる場合(スタンスの障害は除く)、規則 25-1b に基づく救済を受けることができる。
- 障害物 (規則 24)
 - 排水溝は動かさない障害物とみなす。
 - 動かさない障害物に近接している他の動かさない障害物は一体の障害物とみなす。
 - 動かさない障害物に白線で繋がれた区域はその障害物の一部とみなす。
- パッティンググリーン上で球が偶然に動かされた場合
規則 18-2、20-1 は次の通り修正される。
プレーヤーの球がパッティンググリーン上にある場合、その球やボールマーカーがプレーヤーやパートナー、相手またはそのいずれかのキャディーや携帯品によって偶然に動かされても罰はない。その球やボールマーカーは規則 18-2、そして規則 20-1 に規定されている通りにリプレースされなければならない。このローカルルールはプレーヤーの球やボールマーカーがパッティンググリーン上にあり、いかなる動きも偶然である場合にだけ適用する。
注:パッティンググリーン上のプレーヤーの球が風、水あるいは重力などの他の自然現象の結果として動かされたものと判断された場合、その球はその新しい位置からあるがままの状態プレーされなければならない。そのような状況で動かされたボールマーカーはリプレースされることになる。
- 距離計測機器
プレーヤーは距離計測機器の使用によって距離の情報を得ることができる。正規のラウンド中にプレーヤーのプレーに影響する可能性のある他の条件(標高変化、風速など)を計測するために距離計測機器を使用した場合、プレーヤーは規則 14-3 の違反となる。
- 規則 6-6d 例外の修正
規則 6-6d 例外は次の通り修正される。
どのホールであっても、競技者がスコアカードを提出する前には罰を受けていたことを知らずに 1 打または複数の罰打を含めなかったために、真実より少ないスコアを提出していた場合、その競技者は競技失格とはならない。このような状況では、その競技者は該当する規則に規定されている罰を受けるが、規則 6-6d に違反したことに対する追加の罰はない。該当する罰が競技失格である場合にはこの例外は適用

カート乗車及び移動

○高校生の部はキャディバッグを担ぎ、コース内は歩いてプレーすること。

ただし下記のインターバルはカートに乗車してよい。

No.2→3 No.5→6 No.8→9 No.10→11 No.14→15 No.17→18

○中学生の部においてキャディバッグはカートに載せ、コース内は歩いてプレーすること。

ただしインターバルはカートに乗車してよい。

○小学生の部においてはこの限りでない。

注意事項

- 競技条件又はローカルルールに追加、変更のあるときはスタート前に掲示して告示する。
- 練習グリーンは2箇所とする。アプローチの練習は禁止する。
- プレーの進行に注意すること。
- 競技はセルフプレーになる。
- コース内への携帯電話の持ち込みは禁止する。